

未来へつながる学びを支援する訪問 報告

数学 幸手市立西中学校

実施日 指導案検討 令和7年10月14日(火)
授業研究会 令和7年11月13日(木)
訪問者 指導主事 竹内 桂太

指導案検討会

- 単元名
三角形と四角形（第2学年）
- 本時の目標
 - ・平行線の性質を利用して、図形を等積変形することができる。
《思考力、判断力、表現力等》

- 《授業者の思い・意図》
- ・大問（難易度の高い問題）を用いた指導の工夫
 - ・4人組でのグループ学習
 - ・資料の充実
 - ・ICT機器の活用

授業デザイン改善のPOINT

■ 単元指導計画の改善

単元の評価規準と単元指導計画が結び付くようにした。

■ 全体指導の場面の工夫

生徒が見通しをもって課題に取り組めるように、全体指導の方法を変更した。

■ 本時の目標の見直し

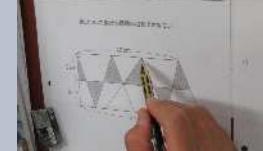
本時の目標が「知識及び技能」のみだったが、「思考力、判断力、表現力等」を加え、達成課題では解法のもととなることから説明する活動を入れた。

授業研究会

● 生徒の変容や今後の課題

◎もととなる解法を説明する活動の中で、既知の学習との関連性を見いだしていた。

▲本時の課題づくりや教師の働きかけが今後の課題である。



■ 参加者の声

・小学校と中学校の授業の進め方や考え方の違いを感じました。ですが、根本的に押さえなければならないところは同じだと思うので、アプローチ方法をよく考えて、今後授業に活かしたいと思います。

(指導案検討会：小学校教諭)

・生徒に、意識してほしいこと(ゴール)は何なのか、そこを大切にし共有し授業を行っていきたいです。

(授業研究会：中学校教諭)

・探究学習をするために、どこまで教員が関わるのかを明確にすることが大切だと思いました。また、小中連携をとりながら、小学校から中学校へ送ることができます。

(授業研究会：小学校教諭)

■ 授業者の声

○ 2回の取組を通して学んだこと

対話の重要性、個別最適な学びの実現のためのICT活用、見通しを持って粘り強く取り組む力が身に付く授業にすること、自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かす力を育む授業にすること

○ 取組への感想

授業を参観した先生方から意見をいただけるのはありがたい経験だった。手段・方法は学校によって様々あるとは思うが、目指すところは同じであると改めて感じた。協議等での御意見や指導者の方からいただいた指導・助言を今後につなげていきたい。